

岡山醫學會彙報

岡山醫學會通常會

同會は本月二十四日午後三時より岡山醫學專門學校に於て開會、舟岡副會長開會を報じ直ちに左の演説に移る

第一席 乳嚙性尿道癌ノ一例（標本供覽）

岡山縣病院産婦人科助手醫

陶 守 三 思 郎 君

演者は先づ之が文獻を述べ次で最近遭遇せる年齢四十五歳の幼時尿道外齷症を惹起せる一婦人に發生せる鶏卵大の原發性本腫瘍に就き其肉眼的竝に顯微鏡的所見（乳嚙性腺癌）を詳述し併せて之が標本を供覽せり。（自抄）

第二席 膀胱結石示説

醫學士 大 森 大 亮 君

演者は異物を核とせる膀胱結石二例を供覽せり。

一、二十二歳の男子が一昨年秋自ら尿道内に「ゴム」を挿入し遂に膀胱に達せしめ昨年春頃より漸次膀胱の刺戟症狀を惹起したるものに膀胱高位切開術を

施して之を摘出したるしが該「ゴム」管は太さ半仙迷、長さ五仙迷餘のものにして其管腔、外面共に褐黃白色の尿塩類著しく沈着して已に結石を形成せるものなり。

二、皮様囊腫が膀胱に破開し其毛髪が核となりて結石を形成せし例は昨年已に本會雜誌に報告せしが今回のものも之と全く同様なるものにして三十八歳の農婦に發生せし毛髪の團塊を核とせる美麗なる結石を其膀胱鏡圖と共に供覽せり。（自抄）

第三席 「カルバノタキジス」ニ就テ

醫學博士

上 坂 熊 勝 君
關 正 次 君

兩君の演説は本誌原著欄にあり。
右終りて閉會したるは午後四時半なり。